しながわワクワク新聞 第119号

発行日：
平成28年9月15日（木）
発行者：
若林ひろき 品川区議会議員
ブログ：
http://ameblo.jp/wakabayashi-hiroki/

しながわ百景をリニューアルします

この度、区制70周年を記念して「しながわ百景」をリニューアルします。候補地20景から皆さんが「いいな」と思う風景を選んで投票してください。

【投票期間】10月11日（火曜）まで【投票方法】区役所などで直接投票するほか、はがき・インターネットで投票できます。【候補地】「広報しながわ」区制70周年特集号、「しながわ百景」特設ホームページからご覧ください。

【問合せ】広報公聴課 ☎03（3771）2000

ちょっといい話

日本では優秀な大学を出た「不真面目な優等生」が多い。与えられたものをそつなくこなすことはできるが意味や意義を考えない。日本に必要なのはむしろ「まじめな不良」。周囲に反発しながらも自分自身の頭で考え現実と向き合う人だ。（NPOアイエスエル代表・野田智義さん）

「心に白い足袋を持ってください」。大学の卒業式で受け取って以来、ずっと大切にしてきた言葉です。女性の凛々しさや存在意義は、声高に何かをいうのではなく、心意気を見せることで示される、という意味です。（脳科学者・黒川伊保子さん）

品川の教育

品川区の教育の歴史を綴った「品川の教育」が発行されました。通り一遍の…と思いきや、第５章「時代を切り拓いた教育改革と小中一貫教育の展開」は、随分と歯ごたえのある書きぶりです。教育改革に携わった人の記述と思われ、想いが伝わってきます。何回かに分けて紹介します。

教育改革着手の象徴、学校選択制 ― 教員・学校の改革のために―

「プラン２１」に、『『学校選択制』の導入は保護者、子どもの要望に応えるという側面の一方、経営論的発想に根強い抵抗感を示す学校の体質そのものを変えていくことも目的としている」とあるように、教員の意識改革と学校改革の原動力にしていくという意図が明確にあったことは特筆に値するものと言えます。（太字は引用文）

▲日野学園、平成１８年開校

学校経営とは、教育機関として組織的、計画的に教育を行うことですが、「教員の意識改革と学校改革」とわざわざ記しているように、当時は外から見えにくく、社会の変化に対応できていないといった批判がありました。区は、決められた区域の子どもたちがそのまま地域の学校に入ってくる仕組みでは、先生の意識は変わりようもなく、学校の体質そのものを改革するために「選ばれる学校」「外から評価される学校」といった環境に置こうとします。

そこで、髙橋久二区長（昭和６２年～平成１８年）は、高齢者や保育などで全国に先駆ける取り組みを行う中、その仕上げとして学校教育改革に取り組みます。平成３年２月、品川区立学校適正規模等審議会は、教職員の意識を変え、学校の現状を変えることが先決問題という考え方を示し、「保護者や児童・生徒が希望する学校に就学できるシステムを優先施策として検討すべき」とする答申を出しました。そして、平成１１年６月に若月秀夫氏を教育長に招聘、学校選択制が具体的に検討されていきます。

都市部としての初めての本格的導入、学校改革と教員の意識改革を主眼とする取り組みは教育界全体に大きな衝撃を与えるものでした。

各地で開かれる教育フォーラムなどに若月教育長は積極的に登場したようです。「大きな衝撃」とありますが、登壇者からは様々な批判が浴びせられていたようです。是非はともかく、内外からの批判を受けながら品川の教育改革は進められていったのです。

平成１２年４月からは小学校、１３年から中学校で学校選択制がスタート。中学校は、全域自由選択ですが、小学校は、区内を４ブロックに分割し、ブロック内での選択という形をとります。ブロック制の理由は、低学年の通学事情への考慮と、地域社会と子どもや保護者とのつながりへの配慮、としています。

私の本棚

「一流の人は本気で怒る」（小宮一慶／文芸新書）その６

「論語」や「老子」は２５００年も前に書かれた書物です。それほどの長きにわたって多くの人から「正しい」とされてきた考え方です。不思議なことに、ソクラテスもほぼ同じ時代の人だし、同じころに仏教も生まれている。こうした古典を読むことで、自分の生き方や、経営者なら経営哲学のバックボーンができるのです。

論語には「義」という言葉がよく出てきます。有名なものに「義を見て為さざるは勇なきなり」。義とは人としての正しい行いということです。また、「利」という言葉も出てきます。「利によって行えば怨み多し」。利とは自分にとって望ましいもの、都合のよいこと、欲しいものを言います。

ビジネスで失敗する人を多く見てきたが、かなりの部分「利」を追って失敗している。それも眼前の小利。利とは自分にとって望ましいもので、それだけを追いかけても周りの人はそれを望んでいるかどうかわからないので、うまくいかないのです。しかし、「義」だけで「利」がなければ自己犠牲になってしまいます。

（つづく）